

親善大使2人 NZ交流報告

倉敷副市長らへ

倉敷市の姉妹都市、ニュージーランド・クライストチャーチ市を2月21日から3月2日まで訪問していた「倉敷市障がい者親善大使」が15日、市役所で帰国報告をした。

大使は、市内の社会福祉法人で働く杉野加奈さん(22)と市林、川崎医療福祉大2年田



親善大使でクライストチャーチ市に訪問した杉野さん

(左)と田中さん

中千智さん(20)と同伴者の母ら計5人。訪問を長年サポートしてくれた現地支援者の死去に伴い、追悼の意を込めて歴代の親善大使らで作った千羽鶴を贈ったり、ホストファミリーと川下りやバーベキューで触れ合ったりした様子を河田育康副市長らに写真を使って説明した。

杉野さんは「千羽鶴をととても喜んでくれた」と振り返り、田中さんは「身ぶり手ぶりで思いを伝えるのは大変だったけど楽しかった」と話した。

両市は2004年度から相互に大使を送っており、倉敷市からは6回目。(中原由華)